

拠出金名：国際農業研究協議グループ拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				1,267,960千円	
国際機関等名	国際農業研究協議グループ (英文名称・略称) Consultative Group on International Agricultural Research (CGIAR)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局地球規模課題総括課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	1,267,960			円建て	100
平成19年度	748,000			円建て	100
平成18年度	1,379,500			円建て	100
当該拠出金の目的・用途等	研究開発プロジェクトの実施、事務所運営費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2008年度決算)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 553百万ドル	
1位	米国	58,000	10.9	当該年度の支出 542百万ドル	
2位	世銀	50,000	9.4	次年度への繰越 11百万ドル	
3位	英国	45,400	8.5	会計検査機関名	
4位	カナダ	34,100	6.4	監査法人(KPMG等)	
5位	EC	32,600	6.1		
日本は11位、拠出率は2.3%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
国際農林水産業研究に対する長期的かつ組織的支援を通じて、開発途上国における食糧増産、農林水産業の持続可能な生産性向上、貧困削減に努めており、農業支援分野における我が国の重要なパートナーとなっている。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
現在、マネジメントの抜本的改革に取り組んでおり、研究課題を重要かつ必要な結果重視の形式にし、「ドナー側」と「研究者側」の役割を踏まえた明瞭な説明責任を持たせるものに変革しようとしているところ。我が国もさらなる効率的な研究体制を目指すことについて評価している。					
邦人職員数 うち幹部以上	39人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		8,082人 0.5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
機会を捉えて、CGIARの各研究センター幹部に対して邦人研究員の採用について働きかけを実施。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(参考) この国際機関にはこの他に農林水産省から拠出あり。